Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成 27 年 3 月 10 日

重点「道の駅」候補の選定証授与式について ~地方創生の核となる「道の駅」を重点的に支援します~

国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所では、平成27年1月30日に重点「道の駅」 候補に選定された道の駅「大歩危」と道の駅「日和佐」で、認定証の授与式を開催しますので、 お知らせします。

記

○道の駅「大歩危」

- 1. 日 平成 27 年 3 月 12 日(木) 11:00~11:30
- 2. 場 所 道の駅「大歩危」 2階会議室
- くろかわせいいち ながもとかずあき みうらまきのり 黒川征一三好市長、永本和明駅長、三浦真紀四国地方整備局長 他 3. 参加者
- 4. 次 第
 - (1)選定授与式
 - (2)意見交換
 - (3)記念撮影

〇道の駅「日和佐」

- 1. 日 平成 27 年 3 月 13 日(金) 11:30~12:00
- 2. 場 所 道の駅「日和佐」物産館会議室
- がげじのぶよし もりもとたけお みうらもきさのり 影治信良美波町長、森本長生駅長、三浦真紀四国地方整備局長 他 3. 参加者
- 4. 次 第
 - (1)選定授与式
 - (2)意見交換
 - (3)記念撮影
- ※ 報道関係者の方は選定授与式、意見交換、記念撮影に参加可能です。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

TEL:088-654-2211(代表) TEL:088-654-9623(直通)

しようの たつや 庄 野 達 也 ◎ 事業対策官

すけた 助田 交通対策課長 内線471

◎:主たる問い合わせ先

内線308

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、 優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



《 重点「道の駅」に想定される機能 》

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能地域全体の観光案内、宿泊予約窓口等

インバウンド観光の促進 外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、 海外対応ATM 等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口 ふるさと納税の情報提供 等 「道の駅」が 活力を呼び、雇用を創出、 地域の好循環へ



地域の元気を創る地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に 発揮していると認められるもの



全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、 さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援 で効果的な取組が期待できるもの

> 取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、 関係機関が連携し、重点支援



重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

(選定の流れ)

重点「道の駅」実施の記者発表



企画内容の確認



「道の駅」有識者懇談会



重点「道の駅」選定結果公表



選定証授与式・交流会

「道の駅」有識者懇談会

委員長:石田 東生 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授

楓 千里 [JTBパブリッシング執行役員 ソリューション事業本部副本部長]

篠原 靖 [跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授

山田 知子 ∫比治山大学現代文化学部教授

(敬称略・五十音順)

(参考資料)

「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

道路情報、地域の観光情報、 緊急医療情報などを提供

地域連携機能

・文化教養施設、観光レクリエーション施設 などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともにつくる 個性豊かな にぎわいの場



「道の駅」登録数 平成27年1月現在 「道の駅」総数1,040駅 北海道 約2,100億円 (H24) · 全国年間売上額 道の駅登録数の推移 青森 27 · 全国年間購買客数 約2億1000万人 (H24) (駅数) 岩手 1000 30 山形 宫城 800 12 600 新潟 37 1040 群馬 栃木 30 22 900 石川 400 743 23 長崎 佐賀 福岡 8 16 大分 23 熊本 24 宮崎 17 21 470 福井 14 埼玉 19 岐阜 200 京都 16 出資 山梨 東京 19 1 神奈川 2 兵庫 干菜 103 広島 18 岡山16 22 0 大阪 三重 静岡 奈良 12 H26.10 H₁₀ H15 H20 **H5** 8 23/7 愛鏡 28 | 香川 18 | △ 16 (現在) 和歌山 **高知 信島** 15 21 / 8 / 沖縄 | 産児島 21 27

- 〇 美波町は、ウミガメ産卵地である大浜海岸を始め魅力的な観光資源があり、道の駅「日和佐」に観光客が集まる一方、周辺施設 の入込客数が道の駅の10%以下であるなど、道の駅の集客効果が周辺地域に波及していない状況。
- ○国道55号やJR日和佐駅に接続する道の駅「日和佐」に外国人にも対応した観光案内所を設置するとともに、「回遊」性や「滞在」 性の向上といった道の駅の出張所機能を持った「サテライトステーション」を周辺施設に配置し、地域一帯を観光都市として再生。

〈地方創生拠点としての機能〉 ゲートウェイ型

総合観光窓口 道の駅サテライトステーション、観光案内所の充実、海外からの旅行客への「お接待」

<課題解決の方法(周遊コースの一例)>

サテライトステーション ※箇所は検討中

南阿波サンライン

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
日和佐	徳島県	美波町	国道55号	既設	平成16年	一体型

【地域の観光施設との連携により更に周辺観光地を活性化】

- <地域周辺の代表的な観光施設>
- ◆四国一の厄除け寺「事干寺」

3万人

2万人

1万人

- ◆国の天然記念物に指定されている「大浜海岸」
- ◆年齢世界記録のウミガメを飼育するウミガメ博物館「カレッタ」

「道の駅」の集客

力が充分に波及

していない

「日和佐」 「カレッタ」 「モラスコむぎ」「ブルーマリン」 道の駅と周辺施設の入込客状況(H26ゴールデンウィークン

- ◆室戸阿南国定公園を回遊できる海中観測船「ブルーマリン」 等
- →「道の駅」と「サテライトステーション」が連携し域内の観光施設への周遊を促進

<道の駅の総合案内機能> ◆外国語対応可能な地域の総合案内所の整備 ◆新設する「サテライトステーション」と連携し綿密な観光情報の 提供・周遊イベント等を実施 ◆鉄道駅に直結し観光客をスムーズに誘導 ◆道の駅でのEV充電やレンタサイクルにより域内周游を促進





実施内容>

日和佐町

日和佐

道の駅と

サテライト

ステーション

の連携

<提案の先駆性・ポイント>

- ■地域観光のゲートウェイ機能を備え、外国人にも対応できる観光案内の拠点
- ■起業機会の創出や地域特産品のオリジナル商品開発・6次産業化の支援拠点
- ■道の駅周辺の観光施設と連携し回遊型の周遊観光コースを設定、道の駅を目 的とした旅行者を各施設へ誘導することで地域全体の活性化を図る。
- 〇外国人案内所の設置、UIターン起業者の支援、EV充電施設の設置、自転車ラッ ク・休憩所の設置
- ○周辺施設に道の駅の補完機能を持ったサテライトステーションの設置、道の駅と サテライトステーションをパッケージ化して情報発信、周遊観光コースの設定、サテ ライトステーションを巡るスタンプラリー、風景街道(南阿波サンライン)との連携

- 〇H26年4月に<mark>観光庁の観光圏整備実施計画</mark>において、大歩危・西祖谷エリアが含まれる「にし阿波~剣山・吉野川観光圏」が認 定、整備計画の目標達成に向け、道の駅の観光窓口機能を強化
- 〇ミシュラングリーンガイド・ジャパンに紹介されている祖谷地区におけるH25年度の外国人観光客はH20年度の3.8倍に増加し ており、「にし阿波〜剣山・吉野川観光圏」のゲートウェイとして、外国人対応可能な人材育成、観光案内所の機能付加、周辺観 光地の情報発信を実施

<地方創生拠点としての機能> ゲートウェイ型

インバウンド観光 海外からの旅行客への「ご接待」

観光総合窓口 にし阿波~剣山・吉野川観光圏のゲートウェイ

車・鉄道等で移動

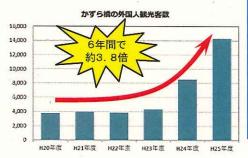
JR池田駅

防災 震災伝承·津波防災文化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
大歩危	徳島県	三好市	国道32号	既設	平成20年	単独型

【日本の文化や原風景に興味を持つ外国人を誘致】

従来からの欧米豪市場に加えて、中国、台湾、韓国の定期便が 就航し、利便性が高くなった高松空港等から訪日旅行に慣れた 東アジアの観光客をターゲットに、急速に経済成長するアジア の観光需要を「にし阿波~剣山・吉野川観光圏」へ取り込む。



- ◆篪庵(ちいおり)
- .築300年の古民家を東洋文化研 究者のアレックス・カー氏が改修、 宿として観光客を受け入れ。

海外に向けて情報 発信をしており、海 外からの来訪者も 多い。



(تعدی

例

Oboke: "In the heart of the secluded Iya valley, the scenic Route 32 and railway line follow the River Yoshino, espousing a spectacular canyon as far as

国定期便就航

ミシュラングリーンガイド ジャパンにおける紹介文

にし阿波〜剣山・吉野川観光圏

Oboke, 25km to the south of Awa Ikeda.

高速道路 主要地方道·県道 その他道路

く提案の先駆性・ポイント>

- ■外国人にも対応できる観光案内の拠点の整備
- ■地域の特産品等を免税販売
- ■農業体験などが可能な滞在型プログラムや体験型教育旅行の受け入れ
- ■公共交通を補完する小型モビリティーの拠点

- ・JNTO外国人案内所に登録し、多言語対応可能なスタッフを配置
- ・外国人観光客の購買意欲促進のための免税店を導入、外国クレジット対応 ATM設置
- ・観光客用のサロンを設置、観光用周遊バス及び小型モビリティを配備
- ・駐車場の機能向上(案内標識の整備と誘導施設の整備)
- ・地域内道の駅に無料公衆無線LANの設置